

令和8年度 数学入門 年間計画

レポート					
学習の到達目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
評価の観点					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
数と式の計算，1次方程式，1次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数や式を多面的にみたり目的にたじて適切に変形したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	
単元	レポート	学習内容	コンテンツ	スクーリング	
				平日	日曜
四則の混じった計算	1 通目	<ul style="list-style-type: none"> ○足し算（加法）・引き算（減法）・かけ算（乗法）・割り算（除法）の計算 ○四則の混じった計算 	解説資料	第1回 ・ 第2回 ・ 第3回	第1回
分数や正負の数の性質・計算	2 通目	<ul style="list-style-type: none"> ○分数の加法・減法・乗法・除法 ○正負の数の加法・減法・乗法・除法 ○四則の混じった計算 ○数の応用 		第4回 ・ 第5回 ・ 第6回	第2回
文字式の計算・1次方程式	3 通目	<ul style="list-style-type: none"> ○1次式の加法・減法 ○1次式と数の乗法・除法 ○式の値 ○方程式とその解 		第7回 ・ 第8回 ・ 第9回	第3回
展開・因数分解	4 通目	<ul style="list-style-type: none"> ○多項式の計算 ○展開の公式 ○因数分解の公式 		第10回 ・ 第11回 ・ 第12回	第4回
根号をふくむ式の計算	5 通目	<ul style="list-style-type: none"> ○平方根 ○根号をふくむ式の乗法・除法 ○根号をふくむ式の加法・減法 		第13回 ・ 第14回 ・ 第15回	第5回
1次関数	6 通目	<ul style="list-style-type: none"> ○座標 ○関数 ○1次関数のグラフ 		第16回 ・ 第17回 ・ 第18回	第6回

令和8年度 陶芸 年間計画

レポ ー ト			
学習の到達目標	工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ表現の意図と創意工夫工芸の働きなどについて考え思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

単元	レポート	学習内容	ITコンテンツ	スクーリング
				特設
陶芸	1	粘土を陶芸作品の形に成形する	レポート1_解説資料 【資料】①～⑥	1
陶芸	2	素焼きした作品に釉がけをする	レポート2_解説資料 【動画】①～③	2
陶芸	3	陶芸作品を鑑賞する	レポート3_解説資料 【画像】スケッチ参考作品	3

令和8年度 実用の書 年間計画

レポ ー ト						
学習の到達目標		(1)日常生活における書の表現方法や形式について理解するとともに、書写能力の向上を図り、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2)意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、現代社会における書の役割について考え、書のよさや美しさを深く味わうことができる。 (3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、書によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				
評 価 の 観 点						
知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・日常生活における書の表現方法や形式について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。			書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、現代社会における書の役割について考え、書のよさや美しさを深く味わおうとしている。		主体的に書の表現の幅広い活動に取り組もうとしている。	
単元	レポート	学習内容	教科書	ITコンテンツ	スクーリング	
					平日	日曜
漢字・仮名・漢仮名	第1回	平仮名	なし	「実用の書」 レポート1_解説資料	1	1
		楷書①			2	
		封筒①			3	
	第2回	楷書②	なし	「実用の書」 レポート2_解説資料	4	3
		漢字仮名交じりの文 はがきの表書き①			5	
		掲示文①			6	
	第3回	履歴書①	なし	「実用の書」 レポート3_解説資料	7	5
		履歴書②			8	
		暑中見舞い 掲示文②			9	
	第4回	手紙	なし	「実用の書」 レポート4_解説資料	10	7
		掲示文③			11	
		行書			12	
	第5回	小筆の基本	なし	「実用の書」 レポート5_解説資料	13	9
		四字熟語			14	
		祝儀袋と不祝儀袋			15	
	第6回	年賀状	なし	「実用の書」 レポート6_解説資料	16	11
		封筒②			17	
		掲示文④			18	

提出目標

第1回…6月上旬 第2回…6月下旬 第3回…7月中旬 第4回…10月中旬 第5回…11月中旬 第6回…12月中旬

令和8年度 パソコン入門 年間計画

年間計画 (パソコン入門)

学習の到達目標	身の回りにある情報機器・アプリケーションに触れながら、基本的知識の理解と活用をしていく。情報機器を活用した情報表現、発信・収集の方法を理解し、データの特性に応じて判断する力を身に付ける	
評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付ける。	情報の技術の見方・考え方を実践的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な表現方法を身に付ける。	課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

No	単元	学習項目	IT コンテンツ	スクーリング回数
1 通目	パソコン操作の基本	[実習] パソコンの入力、起動・終了操作	「NHK for School～しまった！情報活用スキルアップ」 第1～8回	1
		パソコンの入力装置と出力装置、画像表現		2
		[実習] 文書・ポスター作成【文書作成】		3
2 通目	情報収集と情報発信	[実習] アンケートによる情報収集【オンラインフォーム】		4
		[実習] QRコード付きポスター作成【グラフィックデザイン】		5
		双方向コミュニケーションとモラル・マナー		6
3 通目	情報整理と情報発信	[実習] 情報整理 (KJ法)【ホワイトボードツール】	「NHK for School～しまった！情報活用スキルアップ」 第9～16回	7
		[実習] プレゼンテーション資料作成【プレゼンテーション】		8
		[実習] プレゼンテーション(※1)		9
4 通目	データの活用	[実習] パソコンによる計算と乱数【表計算】		10
		[実習] グラフの作成【表計算】		11
		まとめ		12

【】内は使用するアプリケーションソフトウェアです。

※1 プレゼンテーションについてはスクーリング時間の都合、一部の人のみとなる可能性があります。

令和8年度 キャリアガイダンス 年間計画

レポ ー ト							
学習の到達目標		キャリアの幅広い学習活動を通して、職業についての関心を高め、職業人として必要な基礎的・基本的な知識を習得するとともに、自らの個性や適性を理解し、自らの仕事について主体的に考える能力と態度を育て、望ましい職業観・勤労観を確立するという、能力と態度を育成する。					
評 価 の 観 点							
知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
職業についての知識や労働者の権利・義務などの法的な知識を身につけ、自己の生き方や進路を前向きに考え、自己の将来を設計する。		自らの職業観、勤労観について探究している。労働者の権利・義務にかかわる事柄から課題を見出し、その解決を目指して思考を深めている。			自己の将来や職業について関心を持ち、意欲を持って学習活動に取り組もうとしている。		
単元	レポート	学習項目	学 習 内 容	IT講座 (コンテンツ)	NHK 高校講座	スクーリング	
						平日	日曜
職業を理解する	1	A キャリアの意味	キャリアと「働くこと」について考えます。	第1回	対応講座無し。 別途視聴指定動画あり。 不明点は担当者に相談してください。	1	1
		B 仕事を選択する	仕事をしていくうえで、興味や能力、適性について考えます。				
		C 職業インタビュー	職業インタビューの意義を学び、人と仕事との関わりを考えます。				
		D 職業調べ	【実習】インターネットや資料を活用して興味のある職業を調べます。				
進路を考える	2	E 資格	職業と資格について学びます。	第2回	対応講座無し。 別途視聴指定動画あり。 不明点は担当者に相談してください。	4	3
		F 進路を考える(進学編)	入試の形態や進学費用など、進学にあたって注意することを学びます。				
		G 進路を考える(就職編)	【実習】業種と職種を学び、求人票の情報を読み取ります。				
労働法を学ぶ	3	H 求職活動	ハローワーク等公共の職業斡旋機関のサービス等について学びます。	第3回	対応講座無し。 別途視聴指定動画あり。 不明点は担当者に相談してください。	7	5
		I 労働法	労働者の権利や義務等の法的な知識、および就業に関する法的な知識を学びます。 【実習】現代の労働に関する用語について調べます				
自己理解をする	4	J キャリア・アンカー	職業観・勤労観についてまとめ、キャリア・アンカーの理論から人生観について考えます。	第4回	対応講座無し。 別途視聴指定動画あり。 不明点は担当者に相談してください。	10	7
		K 能力開発	個性と能力について考えます。				
		L 振り返り	1年間の振り返りをします。 【実習】1年間の振り返りを作文としてまとめます。				

※視聴報告を利用する場合は、キャリアについて考える科目という性質およびスクーリング回数が限定的なことから、履修形態(平日、日曜)の別に関わらず、必ず事前に担当の先生に相談してください。

※各学習項目には、スクーリングで行う実習も含まれます。

令和8年度 ビジネスマナーズ 年間計画

レポ ー ト							
学習の到達目標		キャリアの幅広い学習活動を通して、職業についての関心を高め、社会人・職業人として必要な基礎的・基本的なマナー及びスキルを習得させ、社会生活に対する望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネス諸活動に役立てる能力と態度を育成する。					
評 価 の 観 点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
社会人・職業人として必要な基礎的・基本的なマナー及びスキルについて理解する上で、必要な知識を持ち、それを実践する技能を身につけている。		学習活動の中から社会人・職業人として必要な基礎的・基本的なマナー及びスキルに関する課題を見出し、その解決を目指して思考を深めている。		社会人・職業人として必要な基礎的・基本的なマナー及びスキルについて関心を持ち、意欲を持って学習活動に取り組んでいる。			
単元	レポート	学習項目	学 習 内 容	コンテンツ	NHK 高校講座	スクーリング	
						平日	日曜
行動する	1	身だしなみ	8～13、18 ページ 身だしなみと基本動作	第1回	対応する番組はありません。担当者に相談してください。	1	1 2
		敬語	14～17 ページ 敬語			2	
		外出先でのマナー	20～30、92～95、100～101 ページ 外出先でのマナー			3	
知る	2	食事	32～52 ページ 食事のマナー	第2回	対応する番組はありません。担当者に相談してください。	4	3 4
		冠婚葬祭	72～86 ページ 人生の節目のしきたり			5	
		年中行事と日本文化	106～127 ページ 日本の季節ごとの行事			6	
書く	3	手紙	54～67 ページ 手紙の書き方の基本	第3回	対応する番組はありません。担当者に相談してください。	7	5 6
		ビジネスレターとビジネスメール	68～70、102～103 ページ ビジネスレターとメールの基本			8	
		履歴書と応募書類	88～89 ページ 履歴書・応募書類の書き方			9	
話す	4	面接と自己紹介	90～91 ページ 面接の受け方と自己紹介	第4回	対応する番組はありません。担当者に相談してください。	10	7 8
		電話	96～99 ページ 電話のかけ方と受け方			11	
		学校の紹介	(テキストはありません) プレゼンテーション			12	

※視聴報告を利用する場合は、必ず事前に担当の先生に相談してください。

令和8年度 国際理解 年間計画

学習の到達目標		人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づき、国際社会に生きる人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、他者と共に生きる主体としての自己を確立し、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。				
		評価の観点				
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
		国際社会に生きる人間としての在り方生き方などに関わる基本的な事柄を、他者と共に生きる主体としての自己の確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身に付けている。	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探求するとともに、良識ある国際人として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、国際社会に生きる人間として、国際社会における諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。		
単元	レポート				スクーリング	
	回	学習項目	学習内容	ITコンテンツ	平日	日曜
識字について	1	1 識字について	1 非識字者の状況について	レポート1_サポート動画 および 2026国際理解_視聴報告_1通目_コンテンツ(PDFファイル) ※マイページの、 国際理解ページ内にあります	1	1
		2 「貧困のサイクル」	2 「貧困のサイクル」と発展途上国の子どもたち		2	
		3 識字率向上の営み	3 日本における識字問題 ニジェールの識字教育		3	
食と食糧	2	1 三大穀物について	1 米、小麦、トウモロコシの食文化	レポート2_サポート動画 および 2026国際理解_視聴報告_1通目_コンテンツ(PDFファイル) ※マイページの、 国際理解ページ内にあります	4	2
		2 食のあり方について	2 食の道具、食物規制について		5	
		3 飢餓について	3 世界の飢餓状況と飢餓対策について		6	
多文化社会と 移民・難民	3	1 移動する人々	1 国境を越えて移動する人々	レポート3_サポート動画 および 2026国際理解_視聴報告_1通目_コンテンツ(PDFファイル) ※マイページの、 国際理解ページ内にあります	7	3
		2 多文化共生の社会	2 多文化共生社会の形成について		8	
		3 少数民族と地域紛争	3 クルド人問題・ルワンダ内戦・ユーゴスラビア紛争		9	
宗教	4	1 世界の宗教	1 世界にはどのような宗教があるのか	レポート4_サポート動画 および 2026国際理解_視聴報告_2通目_コンテンツ(PDFファイル) ※マイページの、 国際理解ページ内にあります	10	4
		2 キリスト教・ユダヤ教・イスラム教	2 キリスト教・ユダヤ教・イスラム教のつながり		11	
		3 死生観	3 宗教による死生観について		12	
住と衣	5	1 日本の住居	1 日本の住居の特徴・歴史	レポート5_サポート動画 および 2026国際理解_視聴報告_2通目_コンテンツ(PDFファイル) ※マイページの、 国際理解ページ内にあります	13	5
		2 世界の住居	2 古代・現代の世界の建築		14	
		3 世界の衣服	3 世界にはどのような衣服があるのか		15	
地域研究	6	1 アメリカ	1 アメリカの理想と現実、文化について	レポート6_サポート動画 および 2026国際理解_視聴報告_2通目_コンテンツ(PDFファイル) ※マイページの、 国際理解ページ内にあります	16	6
		2 中国 世界の文化	2 中国の多様性 世界の文化について調べる		17	
		3 音のない世界 一年間の振り返り	3 ろう者の世界について考える 一年間の学習を振り返る		18	

令和8年度 暮らしの法律 年間計画

レポート						
学習の到達目標		○身近な市民生活や家庭生活にかかわる法についての理解を深め、法的なものの見方・考え方を身につける。 ○日常的には目にすることの少ない、条文の文章に触れ、今後の市民生活を送る上で法的な知識を活用する手がかりを得る。				
評価の観点						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
暮らしをとりまく「法」に関心を持ち、法的な知識を持ち、具体的事例を通して学んでいく姿勢を示している。		法的な思考力を身につけ、表現できる。		身近な市民生活や家庭生活にかかわる法についての理解を深め、今後の市民生活を送る上で法的な知識を活用する手がかりを得、法的なものの方・考え方を身につけている。		
レポート通数 (提出目標)	回数	学習項目	学習内容	ITコンテンツ	スクーリング	
					平日	日曜
1 (5月下旬)	1	法の意義	法律の定義と役割	2026暮らしの法律_視聴報告_1通 目_コンテンツ(PDF ファイル) ※マイページの、 暮らしの法律ページ 内にあります	1	1
	2	平等と公正	豊かで公正な社会の構築		2	
	3	18歳成人と人権	18歳成年制度 選挙権 表現の自由		3	
2 (6月下旬)	4	身近な法律トラブル①	消費者トラブル SNS・ネットトラブル	2026暮らしの法律_視聴報告_1通 目_コンテンツ(PDF ファイル) ※マイページの、 暮らしの法律ページ 内にあります	4	2
	5	身近な法律トラブル②	学習活動におけるトラブル ハラスメント 違法薬物		5	
	6	労働法の知識①	労働法の基礎知識 最低賃金 労働条件通知書		6	
3 (7月下旬)	7	労働法の知識②	労働トラブルに関するケーススタディ 闇バイト	2026暮らしの法律_視聴報告_1通 目_コンテンツ(PDF ファイル) ※マイページの、 暮らしの法律ページ 内にあります	7	3
	8	契約の知識①	契約の基礎知識 契約の成立と取消し クーリング・オフ制度		8	
	9	契約の知識②	クレジットカード 暮らしとお金 賃貸借契約		9	
4 (10月下旬)	10	就職と家庭生活①	労働者の権利 男女の平等	2026暮らしの法律_視聴報告_2通 目_コンテンツ(PDF ファイル) ※マイページの、 暮らしの法律ページ 内にあります	10	4
	11	就職と家庭生活②	就職活動に関する法律と制度		11	
	12	社会生活と法律①	迷惑行為と法律トラブル		12	
5 (11月下旬)	13	社会生活と法律②	道路交通法	2026暮らしの法律_視聴報告_2通 目_コンテンツ(PDF ファイル) ※マイページの、 暮らしの法律ページ 内にあります	13	5
	14	婚姻・恋愛と法律①	婚姻に関する法律知識		14	
	15	婚姻・恋愛と法律②	男女共同参画 ストーカー・DV 同性婚		15	
6 (12月中旬)	16	多様性と共生社会①	多様な価値観 海外の法律トラブル	2026暮らしの法律_視聴報告_2通 目_コンテンツ(PDF ファイル) ※マイページの、 暮らしの法律ページ 内にあります	16	6
	17	多様性と共生社会②	自己理解と他者理解 差別 共生社会 アンコンシャスバイアス		17	
	18	振り返りとまとめ	新しい法律ができるということ 今後のよりよい社会のために		18	

令和8年度年度 年間計画 (くらしとデザイン)

学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、着用目的に応じたファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。 ・ユニバーサルデザインに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、使いやすくデザインする能力と態度を育てる。 						
評価の観点								
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
ファッションデザインやユニバーサルデザインに関心を持ち、デザインの発想をファッション画に表現する能力、創意工夫しデザイン画に表現する能力を身に付けている。		ファッションデザイン・ユニバーサルデザインに関して、創造的に思考を深め、学習した知識と理解を活用して、創意工夫し表現する能力を身に付けている。		身の回りの様々なデザインに対して関心を持ち、よりよいデザインやより多くの人に使いやすいデザインを工夫をこらしながら発想しようとしている。				
単元	レポートの提出	学習内容			スクーリング			
		教科書	コンテンツ	視聴報告	平日	日曜		
第1編 ファッションデザイン	第1章 ファッションデザインの基礎	第1回	ファッションデザインと形態	「くらしとデザイン」 第1回 ・NHK デザインあ neo	視聴報告課題 1(前期)の 表紙の指示の とおり !!注意!! 前期の提出で 1回の出席代 替となる。 ※視聴報告も 1日につき1 通しか提出で きません。ま とめ出し不 可。	1	1	
			衣服の基本構造			2		
			色彩とファッションイメージ				3	2
			若者ファッションの歴史					
			ファッションリサーチ					
			ファッションコレクション					
	第2章 ファッションデザインの表現	第2回	ファッションデザインの発想	「くらしとデザイン」 第2回 ・NHK デザインあ neo		4	3	
			発想からデザインへ					
			ファッション画			5		
			ファッションデザインの条件					
			ファッションデザインのアイデア				6	4
			ファッションデザインのまとめ					
第2編 ユニバーサルデザイン	第1章 ユニバーサルデザインの必要性	第3回	ユニバーサルデザインとバリアフリー	「くらしとデザイン」 第3回 ・NHK デザインあ neo	視聴報告課題 2(後期)の 表紙の指示の とおり !!注意!! 後期だけの提 出はできませ ん。前期分が 承認されたあ とに後期分を 提出できま す。 視聴報告課題 2(後期)の 合格で1回分 の出席とみな します。 ※視聴報告も 1日につき1 通しか提出で きません。ま とめ出し不 可。	7	5	
			ユニバーサルデザインの7原則					
			合理的配慮			8		
			身の周りのデザイン					
			ユニバーサルデザイン化された住居・公共施設				9	6
			疑似体験					
	第2章 ユニバーサルデザインの企画	第4回	ユニバーサルデザイン化された生活用品の観察		「くらしとデザイン」 第4回 ・NHK デザインあ neo	10	7	
			イメージに合わせたデザイン					
			ユニバーサルな表示を考える			11		
			さまざまな利用者への理解					
			ユニバーサルデザインの企画・設計				12	8
			ユニバーサルデザインの検証					
ユニバーサルデザインのまとめ								

レポート提出目標

第1回・・・ 6月中旬頃
第3回・・・ 11月初旬頃

第2回・・・ 7月下旬頃
第4回・・・ 12月中旬頃

令和8年度 年間計画 (くらしと環境)

学習の到達目標		自然現象や環境問題に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・調査を行い、自然科学・社会科学の分野に対して探究する能力と態度を身につけるとともに、地球規模の問題の基本的概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。				
評価の観点						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
環境に関する様々な用語や説明がわかり、理解している。また、観察、実験を通して、身近な事象を科学的に探究する技能を身に付けている。		様々な現状の結果から、どうしてこのような結果が生まれるのか判断ができ、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		現象になぜという自問の気持ちを持ち、その解明に意欲的である。		
単元	レポート			学習内容と対応したコンテンツ	スクーリング回数	
	通	学習項目	学習内容		平日	日曜
第1章 地球と人間	1	1. 地球の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系のはじまり ・地球の成り立ち 	NHK for school 自然環境の保全 NHK高校講座 「地学基礎 第1回」 「地学基礎 第2回」 「地学基礎 第5回」 「地学基礎 第8回」 「生物基礎 第36回」 「生物基礎 第39回」	1	1
		2. 生命の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・シアノバクテリアの出現 ・陸上への進出 		2	
		3. 生態系のバランスと多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・水界、森林生態系のバランスと保全 ・外来生物の生態系への影響 ・絶滅危惧種 		3	2
第2章 地球温暖化	2	1. 人間生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の歴史とエネルギー 	NHK for school 放置しないで！地球温暖化 NHK高校講座 「現代社会 第36回」 「地学基礎 第30回」 「地学基礎 第37回」 「生物基礎 第37回」 「科学と人間生活 第17回」	4	3
		2. 温室効果	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽放射と地球放射 ・温室効果ガス 		5	
		3. 温室効果ガス濃度の変化と気候の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの濃度の変化 ・気温上昇の予測 		6	4
		4. 地球温暖化の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・気温上昇により表面化するリスク ・自然や暮らしへの影響 		7	5
第3章 エネルギー	3	1. 化石燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料の種類 ・環境性、埋蔵量 	NHK for school 放置しないで！エネルギー問題 NHK高校講座 「地学基礎 第38回」	8	6
		2. 主な発電	<ul style="list-style-type: none"> ・火力、原子力、水力発電 		9	
		3. 再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光、風力、地熱発電 		10	7
		4. 省エネルギーの試み	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー 自動車、コージェネレーションシステム 		11	8
第4章 化学物質と放射線	4	1. 公害	<ul style="list-style-type: none"> ・4大公害病 	NHK for school 放置しないで！プラスチック問題 NHK高校講座 「地学基礎 第37回」 「物理基礎 第40回」	12	8
		2. 大気汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン、光化学スモッグ、PM2.5 		10	
		3. 酸性雨	<ul style="list-style-type: none"> ・酸性雨 		11	
		4. 化学物質	<ul style="list-style-type: none"> ・POPs(ダイオキシン類、PCB、DDT) 		12	
		5. 放射線	<ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原発事故 ・放射線による影響 ・放射性物質の半減期 		11	

レポート提出目標
第1回・・・6月中旬
第3回・・・11月中旬

第2回・・・7月下旬
第4回・・・12月中旬